

“**原発全廃を祈り断食中**” 経産省前

福ちゃんの 72時間ハンスト報告



2017. 11. 11. 記 福間幸夫

[ハンスト中の時間経過は「ハンスト日記」参照](#)

福ちゃんは、安倍内閣のエネルギー政策を転換させるためには、経産省（エネ庁）のエネルギー政策を変えるしかないと思立ち、経産省前で3日間のハンストを行いました。

きっかけ（動機）

きっかけ（ヒント）は、6月初旬のたんぼぼ舎の『地震と原発事故情報』で、関西では中嶋哲演和尚さんが関電に抗議のハンストを行う、と載っていたからです。これに呼応して関東でも何かせねば、と思った次第です。

一方、福ちゃんは、3.11から6年半が過ぎた、いま自分に何ができるのか、を考え続けてきた。この間、福ちゃんは、いろいろな脱原発・反原発の集会やデモに参加したり、時には原子力規制委員会へパブコメを出したり、また、自宅前には手製の『脱原発掲示板』を作り、各集会等で入手したチラシを2週間ごとに貼り替えたりなどもしてきた。また、福島から千葉へ避難して来た人の訴訟の裁判闘争の支援活動にも関わってきた。

6年前、福ちゃんは自分の誕生日を記念して『私の脱原発宣言』を発した。しかし、あれから6年半が過ぎた今現在も何も変わっていない、という焦りのようなものも感じていた。それで、取り立てて何の取り柄もない福ちゃんに出来ることは、あとはハンストくらいしかないな、と思ったのです。

そしてまた、最近急速に体力の衰えを痛感することが多くなった福ちゃん、やるなら今年しかない、と思ったのです。

準備

まずは、ノボリ旗は必要だな、と思い、その準備から始めた。最初は手製で作ろうと思ったが、花のお江戸のど真ん中に立てる旗にお粗末なものは作れないなと思い、ノボリ旗製作の専門店に発注することにした。しかし、福ちゃん、デモ用の旗など作ったことがないので、どこに行けばよいのかも知らない。そこで、千葉で福島原発被災者訴訟の「原告とその家族を支援団する会」のメンバーのSさんから、千葉市栄町の『旗・のぼり・宣伝幕・提灯等の専門店』辻仲^{ツジチュウ}を紹介して頂き、その店まで連れて行っていただいた。

次に、ノボリ旗の文をどうするか、だ。いろいろな案の中で、最終的に「原発全廃を願い、断食中」とするか、「原発全廃を祈り、断食中」にするかに絞り、「願い」と「祈り」のどちらにするか、福ちゃんは小頭を悩ました。そして旗の文を決めると、旗屋さんに行き、旗の生地・色・字体について、いくつかのサンプルを見せてもらい決める。旗の色は、最初は平和のイメージの^{みどり}緑で考えていたが、夜でも比較的目立つのは黄色だ、と幟専門店のアドヴァイスに従い、黄色に決める。文字も一色では面白くないので、「**原発全廃を祈り**」を赤とし、「断食中」を黒とし、注文した（6月15日）。注文のノボリ旗は、1週間ほどで出来上がった。（6月29日受取。¥7,000也）



次は、断食決行日をいつにするか、である。秋になるといろいろ忙しくもなり、また福ちゃんは、暑さより寒さの方が弱いので、8月の終わり(28日~31日)に決行することにした。

決行前

福ちゃんは、元来「群れて」行動するのは好きではない。趣味の登山も以前は会社の山岳部のチーム山行で行っていたが、最近はそのほとんどが単独行である。自分で好き勝手に計画・行動できるからである。(それでも登山の場合には、万が一の場合に備えて誰かに登山計画書は送ることにしている。)それで、今回のハンストも福ちゃんの単独行動で実行することにした。

今回のハンスト(断食)の計画を同志の皆さんに打ち明けたのは、7月30日のことである。まずは、小川さんがそれに応えていろいろ相談に乗ってくださった。そして、昨年8月21日に撤去された後も続けている「経産省前テントひろば」のTさんとYさんを紹介してくださった。それで、8月3日にTさんとYさんにお会いし、「経産省前テントひろば」に隣接する場所で「一人断食」の承諾を頂いた。ただし、あくまでも「自己責任」で実施するように言われた。勿論、それは当然のことである。この席で小川さんから「趣意書」を作った方が良く、との Suggestion があり、8月5日ハンストの趣意書を作成し、小川さんにメール送信をする。この趣意書に川井さんと長谷川さんから激励のメッセージも戴く。その前の7月31日には「原発さよなら千葉」のYさんからも「経産省前テントひろば」の人と相談した方が良く、とのアドバイスと医者などのバックアップ体制は出来ているのか?のコメントも頂いた。

8月11日 「忘れまい3.11! 反戦・反原発/千葉」のNさんが千葉市民活動センターで『趣意書』500部を印刷して頂いた。8月18日 「原発さよなら千葉」の定例会で、ハンストの話をする。多くの方から激励とアドバイスを戴く。その席で、福ちゃんは、最近頻尿なのでトイレが心配だ、と言うと、Oさんが大人のオムツ(尿漏れパンツ)を推奨して呉れた。これは、実行時に採用したが、「安心感」を与えてくれ、実際に役に立った。

8月22日 「忘れまい3.11! 反戦・反原発/千葉」の定例会合で『趣意書』を配る。多くの仲間、多くの方から激励とアドバイスを頂く。—福ちゃんは、「断食」そのものには過去の山行経験から心配はない(自信がある)が、右翼の襲撃と警察権力の介入の方が心配だと話すと、Wさんが『救援ノート』最新版を呉れた(定価500円で購入した)。これ以降、毎夜、これを読んで行くと段々と怖くなってきた。

右翼の襲撃については、もうずいぶん前のことになるが、福ちゃんが稲毛の浅間神社近くの赤ちょうちん(焼き鳥屋)で飲んでいる時、天皇制の話になり、その店のオヤジに刺された経験があるので特に怖くはなかったが、狭山事件や袴田事件やその他数々の冤罪事件で警察がやったこと(拷問的自白強要)を書物で知っている福ちゃんは、次々と想像・妄想が拡大し、警察権力が怖くなってきた。—逮捕時に携帯電話を所持していたら、たとえその中身を「削除」したとしても、警察はそのデータを解読すると聞き、そうなる福ちゃんの全ての「ワル友」情報(メルアドなど)も敵の手に渡ってしまうことになる。それで、なんとしても逮捕だけは避けなければならない、と思った。

断食計画当初は逮捕覚悟で24時間x3日間フルタイムの断食行を考えていたが、段々と日和見主義的な考えになってしまう。これまでは自分一人逮捕されても怖くはなかったが、妻や子供家族や親戚がどれほど心配するか、などを考えると増々逮捕だけは避けなければ、と思うようになってきた。また、夜は寝袋で寝る(休む)ことを考えていた

が、大都会の舗装道路上で雨になったら、シュラフがぐしょ濡れになり、眠れないな、と思うようになってきた。
(山なら防水対策をしたテントの中なのでその心配はないのだが。)

上記のような心理状態から夜の野宿は、回避することにした。小川さんが[経産省前テントひろば]の事務所階段を夜の雨除け場として配慮してくださったが、結局それも事務所側の都合でダメになり、最終的にはMさんの水道橋の編集工房『朔』にご厄介になることになった。8月23日、ハンスト場の最終確認と予行演習のために、ハンスト決行日と同じ時間帯に福ちゃんの田舎町・酒々井より出掛けて行く。－あとは“案ずるより産むが易し”と決め込む。

決行

8月28日(月) 曇→晴 この日は朝食を取らず福ちゃんは家を出る。11:50 経産省前に着く。ちょうど同じ時刻に「経産省前テントひろば」の面々もいつもの椅子や日傘(パラソル)や、冷たい水を置くテーブルの設営を始める。その間に福ちゃんは名刺を渡し、「今日から3日間よろしくお願ひします」と挨拶をする。15:30「3.11 反戦・反原発/横浜」のKさんが激励にみえる。Kさんには、31日まで毎日来て頂いた。17:50「原発さよなら千葉」のH弁護士さんがみえた。心細く思っていたところに弁護士さんがおみえになり、大変心強かった。18:30「反戦・反原発/千葉」のGさんが激励にみえた。19:30 経産省前を退去、『朔』へ向かう。ハンスト初日は何事もなく無事に終わる。

8月29日(火) 曇&晴 10:00 経産省前に着き、ノボリ旗を立てる。10:30「反戦・反原発/横浜」のKさん、みえる。11:30-JBICでのレクチャ帰りの川井さんが激励訪問にみえた。12:00 正午、ハンスト開始まる第1日を迎える。15:10「反戦・反原発/千葉」のNさんの激励訪問を受ける。彼女が差し出してくれた冷たい濡れタオルで顔・首などを拭く。舗装道路路面の温度は40℃に昇る。さっぱりして気分爽快になる。男性にはない女性の心使いに感謝。16:30 長谷川さんの激励訪問を受ける。19:35 経産省前、退去。

8月30日(水) 晴→曇→雨 9:25 経産省前着。10:00~16:00「反戦・反原発/横浜」のKさん、今日も様子見訪問あり。Kさんとは初対面だが、冗談を飛ばすのが好きなようだ。「ここにくたばったら、その亡骸を経産省玄関に放り込んでカラスの餌にしてやる」のだと。彼、いろいろな所(東京・横浜など)で反原発・反公害・など幅広くやっている活動家とみた。10:30 川井さんの激励訪問を受ける。15:00 Nさんの激励訪問を受ける。



[経産省前テントひろば]に毎日のように来ているという斎藤美智子さんから『核も戦争もない世界を！すこやかな未来を願って』という彼女の自費出版の本を頂戴する。彼女は40年前のビキニ水爆実験以降、一貫して反核運動をやってきていると言う。もう直ぐ90歳を迎えられるという斎藤美智子さんとNさんは、道行く人に福ちゃんの反原発ハンストを訴えながら、福ちゃんの『趣意書』配布を頼みもしないのにやってくださる。

[経産省前テントひろば]の人たちが、東京新聞、その他のメディアに、福ちゃんが「一人ハンスト」をやっていることを連絡したと言う。しかし、結局、ハンスト最終日までこのメディアも報道取材に来なかった。[経産省前テントひろば]では、なにかイベントをする場合には、事前にメディアにそれを通知して置くそうだ。福ちゃんには最初からそんな意図は一つもなかった。ただ一人静かに座る座禅僧のイメージだけがあった。

17:30頃が人通りが一番多い。各省庁のお役人たちの帰り時刻だからであろう。道行く人を見ていると、首に各省庁の通門証をぶら下げているお役人たちは、チラシをほとんど受け取らない。福ちゃんは、千葉県庁前でも千葉県原発

訴訟の裁判傍聴のチラシを何度も撒いて来たが、県庁のお役人もほとんどの人がチラシを受け取らない。お役人さん達は、そのように指導されているのだろうか？—そうした人たちを見ていると何か覇気が感じ取れない。—経産省のガードマンは二人一組で必ず2時間ごとに経産省外周を一回りして来る。彼らもロボットのように通り過ぎるだけで、福ちゃんの『趣意書』を絶対に受け取らない。—夕方、雨が降り出し暗くなってきたので18:20 経産省前を去る。

8月31日(木) いよいよ今日がハンスト最終日である。朝から終日雨である。8:55 経産省前に着く。10:00「反戦・反原発/横浜」のKさんが4日間連続でみえる。Kさんがいつものように「まだ生きていたのか！」と軽口をたたく。福ちゃん、「まだ経産省のカラスの餌=鳥葬にはなっていないよ！」と応える。11:10 都内で介護労働の帰りのNさんが来てくれた。

12:00 ハンスト終了に当たり、Kさんの提案で、NさんとKさんと福ちゃんの三人が経産省の玄関受付に入っていく。普通は絶対に入れてくれないという守衛がなぜか(虚を突かれたのか)簡単に通してくれた。すると経産省の監視カメラを見ていたと思われる役人5,6人が直ぐにその玄関受付に飛んで来た。福ちゃんはその人にしかるべく部門長に「趣意書」を渡して欲しいと頼むと、彼らはそれ(趣意書)は既に受け取っている、と言う。改めて趣意書一枚を手渡して、直ぐに福ちゃんたちは、その場を出る。12:20 経産省正門前の“全原発廃止を祈り断食中”のノボリ旗を片付け、帰路へとメトロ霞ヶ関駅に向かう。



福ちゃんは、多少身体が浮いたような感じはするが、別にそれほど体力の消耗感はない。「反戦・反原発/千葉」のHさん(市原市)が車で迎えに行く、と何度も言ってくれたが、大丈夫だと言って、断る。Nさんが稲毛まで送ると言って、最後まで付き合ってくくださった。3泊4日のハンストも無事に完了する。

ハンスト中、警察官は近くまでは来るが、特に何も言わずに帰って行く。右翼のいやがらせも警察権力の介入もなく、ちょっと拍子抜けの感のする3泊4日であった。ノボリ旗のポールを杖代わりにして霞ヶ関階段を慎重にゆっくり降る。14:30 無事に福ちゃん、帰宅する。家に着くと家内に頼んでおいた風呂に入り、夕方、3泊4日の断食と断酒明け=ラマダン明けのように軽く酒を飲み、食事も軽く取って寝る。

この3ヶ月間、特にハンスト1週間前は不眠症のようになり安眠できなかつたが、やっと解放された気分ですっきり眠ることができた。

収穫と感謝

今回の福ちゃんのハンストの最大の収穫は、「経産省前テントひろば」の皆さんをはじめ、「忘れまい3.11! 反戦・反原発/千葉」の会の皆さん、「原発さよなら千葉」の皆さん、等々沢山の反原発の仲間と出会えてことです。そして、これらの皆さんと共に今後も更に反原発運動を続けて行きたいと思えます。

みなさんの温かいご助言とご支援のお蔭で無事福ちゃんのハンストが貫徹できたことに心からお礼を申し上げます。